

Ⅲ 学部経営(案)

Ⅰ 小学部の経営

(1) 学部目標

ア 「めあてをもって 友達と一緒に 自分から 活動できる児童」

イ 目指す姿

低学年 好きなことを増やし、友達と場や物を共有して、おもいきり活動する姿

高学年 自分のやることがわかり、友達と一緒に、自分から取り組む姿

ウ 学部経営方針

- ・好きなことや楽しみなことを増やす【いきいき】
- ・やることが分かって、自分から活動に向かう意欲や態度を育てる【いきいき】
- ・周囲の人と好ましい方法で関わる力を育てる【なかよく】
- ・自分の思いを相手に伝えたり、相手の気持ちを受け止めたりする力を育てる【なかよく】
- ・安定した心と健康に過ごす力を育てる【すこやか】

(2) 本年度の取組

	取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標
授業	ア 「やりがいと手ごたえのある」授業の実践	・児童の自分なりに『かかわる』姿を想定した目標設定と授業づくり ・PDCA サイクルで授業実践を行い、学部職員で共通理解する	・児童が自分なりの『かかわり』の中でやりがいや手ごたえを感じて授業に取り組んでいる
	イ 学びが社会参加につながる教育課程の再編	・統一様式の研修を通して、個々の目標を明確にする ・児童の1年後、小学部卒業後の姿を見据え、将来につながる年間指導計画の作成を行う	・教職員は個々の目標設定理由を明確に説明できる
	ウ 教職員の専門性の向上のためのシステム作り	教職員の得意分野や経験を活かしたり、他の教職員と共有したりして専門性の向上を図る	・教職員は研修を通して得た知識や技術を活かした支援をしている
連携	ア 児童生徒が主体的に取り組むキャリア教育の推進	・チャレンジシート(キャリアパスポート)を活用しての目標設定や振り返りを、学期初めや学期末、各単元終わりに実施 ・面談や指導連絡会で本人、保護者、学園と将来の姿や支援を共有する。	・児童が学習を記録し、振り返ることによって自己理解を深めている ・保護者(学園)とも共有できている
	イ 地域の特色を生かした交流活動の推進	・地域の人を招いて、学習発表の機会の設定 ・各校の実態に応じた目標や学習内容を設定し、互いに充実した交流及び共同学習の実施	・児童や地域が参加する学習・活動の機会が広がっている ・学校間交流、交流籍を活用した共同学習により、互いに成果を確認することができている
	ウ 生活に広がるスポーツ・芸術・読書活動の拡充	・さまざまなスポーツを幅広く配置した3年サイクルの体育の年間指導計画の運用と改善 ・週4回の朝トレーニングの実施 ・週1回の朝読書時間の設定	・どの児童も、体を動かす楽しさや好きな表現方法を見つけている ・どの児童も読んでみたい本や好きな本を見つけている

安 心	ア 学校安全計画の更新 と自他を大切にする 心の育成	・自立活動、道徳を中心とした自他 共に大切にする授業の実践	・児童は、自他を大切にする知識 と行動を身につけている
	イ 事故や大規模災害に 備えた危機管理体制 の強化	・朝の打合せで前日までのヒヤリ ハットや安全に考慮した1日の学 部体制の共有	・教職員は、児童の安全に対する 想像力を働かせて、日々の業務に あたっている
	ウ 守るために学ぶ教職 員の育成	・会議時間、授業準備時間、分掌 業務時間、休憩時間の明確化 ・人権を大切にした指導を毎回の 学部会の議題へ取り入れ	・教職員は、授業準備や分掌業務 に十分取り組んでいる ・教職員は人権感覚を磨き、児童 生徒や同僚の人権、多様性を尊 重している